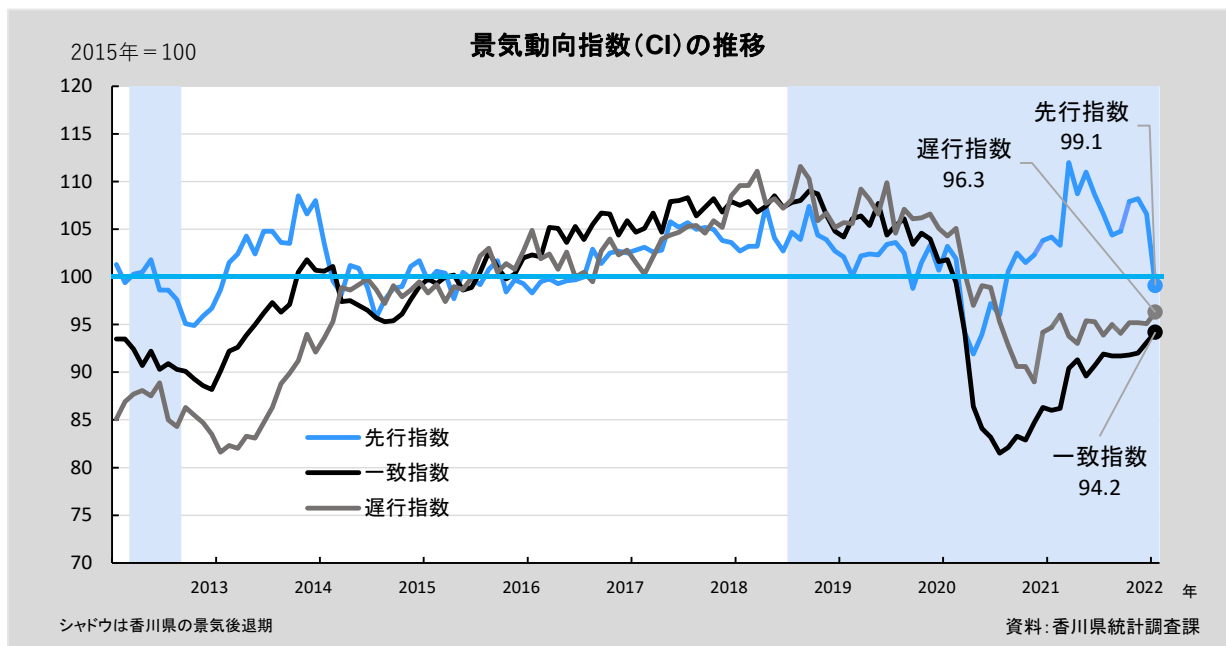


<b>概況</b>	景気は緩やかに持ち直しつつあるが、新型コロナウイルス感染症の影響で一部に弱い動きがみられる。
<b>個人消費</b>	緩やかに持ち直している。
<b>住宅投資</b>	持ち直しの動きが一服している。
<b>公共投資</b>	減少している。
<b>生産活動</b>	持ち直しの動きが一服している。
<b>雇用情勢</b>	緩やかに持ち直している。
<b>貿易</b>	輸出、輸入ともに増加している。
<b>観光</b>	弱い動きの中、持ち直しの兆しがみられる。

**景気動向指数(かがわ CI) 一致指数 4カ月連続上昇**



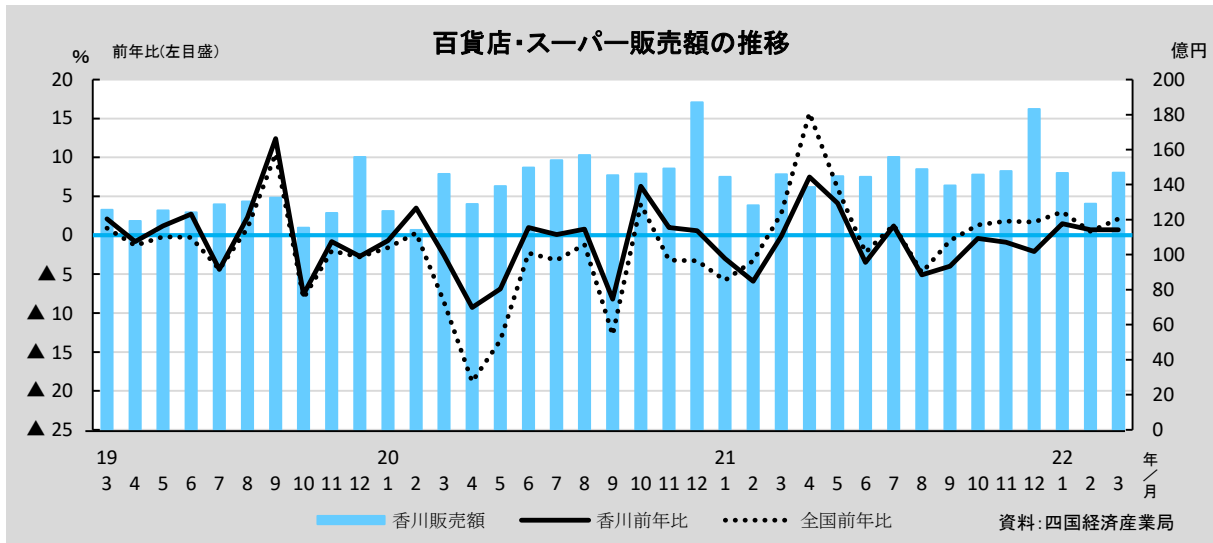
景気の現状をみると、2月のCI一致指数は94.2（前月比+1.1ポイント）と4カ月連続で上昇。CI先行指数は99.1（同▲7.5ポイント）と2カ月連続で下降。CI遅行指数は96.3（同+1.2ポイント）と3カ月ぶりに上昇。

景気の現状を示す一致系列の個別指標では、雇用保険受給者実人員、有効求人倍率、鉱工業生産指数が上昇に寄与したことにより、前月から1.1ポイントの上昇となった。

	先行系列	寄与度	一致系列	寄与度	遅行系列	寄与度
採用 景気 指標	1 新規求人数	▲ 0.52	1 雇用保険受給者実人員	0.98	1 常用雇用指数	▲ 0.13
	2 乗用車新車登録台数	▲ 1.50	2 有効求人倍率	0.35	2 有効求職者数	0.33
	3 鉱工業在庫率指数	▲ 0.61	3 所定外労働時間指数	▲ 0.01	3 消費者物価指数	0.73
	4 生産財生産指数	▲ 2.43	4 鉱工業生産指数	0.31	4 家計消費支出	0.46
	5 新設住宅着工戸数	▲ 0.80	5 鉱工業出荷指数	▲ 0.03	5 鉱工業在庫指数	0.93
	6 金融機関貸出残高	▲ 0.34	6 建築着工床面積	▲ 0.30	6 法人事業税調定額	▲ 0.15
	7 消費者態度指数	▲ 1.09	7 百貨店・スーパー既存店販売額	▲ 0.19	7 第3次産業活動指数	▲ 0.85

●百貨店・スーパー販売額

3カ月連続増加 ↑



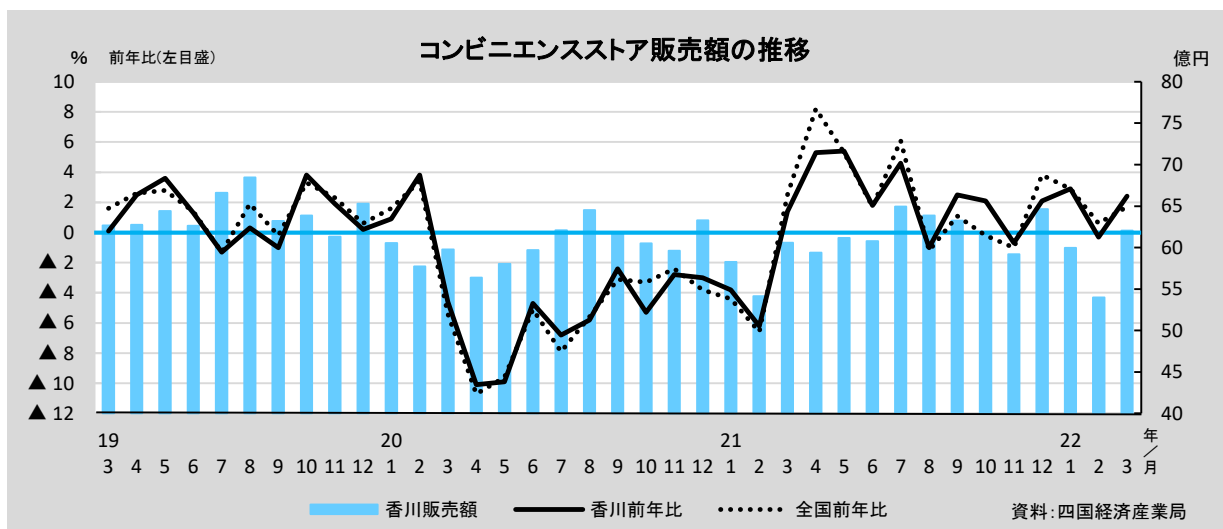
2022/3月	衣料品	身の回り品	飲食料品	家具	家庭用 電気機械器具	家庭用品	その他の商品	食堂・喫茶	合計
販売額(万円)	106,478	64,093	1,081,588	3,394	4,932	26,444	181,733	352	1,469,014
前年同月比(%)	▲7.1	▲0.3	2.2	56.2	▲33.2	9.6	▲3.0	▲50.2	0.7

3月の百貨店・スーパー全店（84店）の販売額は、146.9億円で前年同月比+0.7%と3カ月連続で増加した。「飲食料品」は内食傾向が続き、生鮮食品やアルコール飲料が好調で前年同月比+2.2%となった。

一方、「衣料品」は同▲7.1%、化粧品や医薬品などの「その他の商品」は同▲3.0%と低調だった。

●コンビニエンスストア販売額

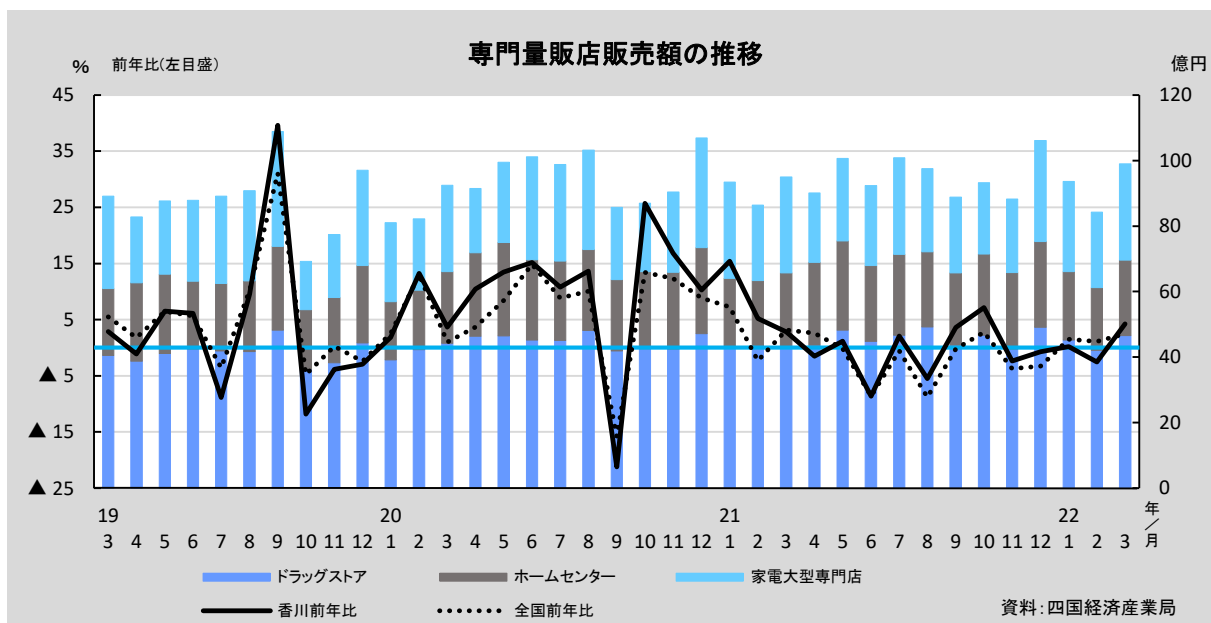
2カ月ぶり増加 ↑



3月のコンビニエンスストア全店（408店）の販売額は62.1億円で、前年同月比+2.4%となった。インスタント食品やアルコール飲料などの動きが良く、2カ月ぶりの増加となった。

● 専門量販店販売額

2 カ月ぶり増加 ↑

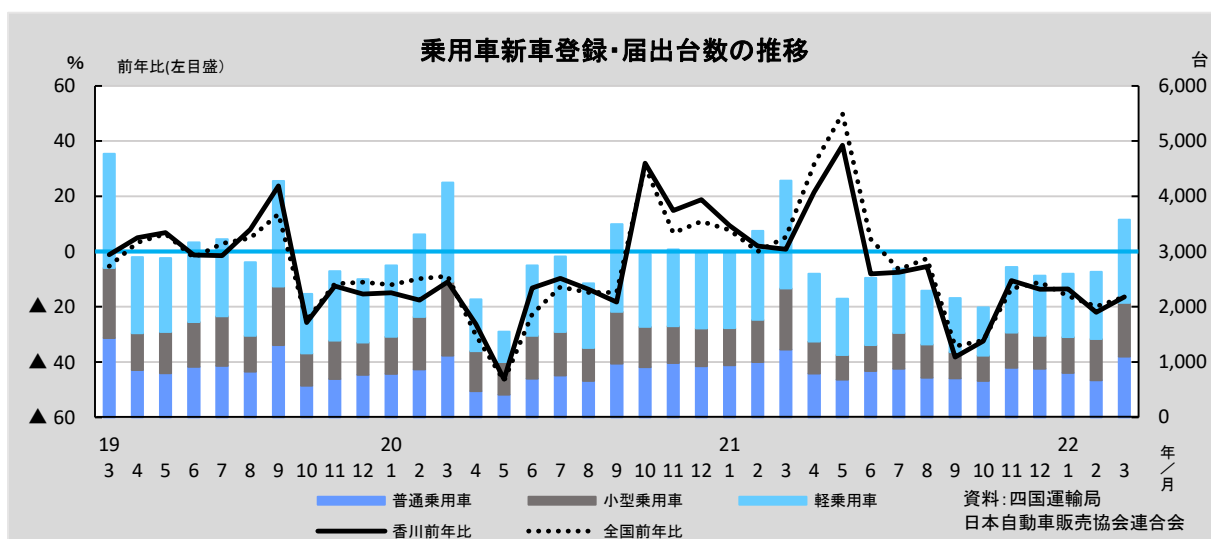


3月の専門量販店全店（209店）の販売額は99.0億円で、前年同月比+4.2%と2カ月ぶりに増加した。

業態別にみると、家電大型専門店（29店）の販売額は29.4億円で前年同月比+0.4%となった。ドラッグストア（134店）は、冷凍食品などの飲食料品が堅調に推移し、販売額は46.5億円で同+7.6%となった。ホームセンター（46店）は、販売額は23.1億円で同+2.7%となった。

● 乗用車新車販売台数

10 カ月連続減少 ↓



3月の乗用車（普通・小型・軽）新車販売台数は3,579台で、半導体等の部品不足による生産停滞の影響が続き、前年同月比▲16.4%と10カ月連続で減少した。

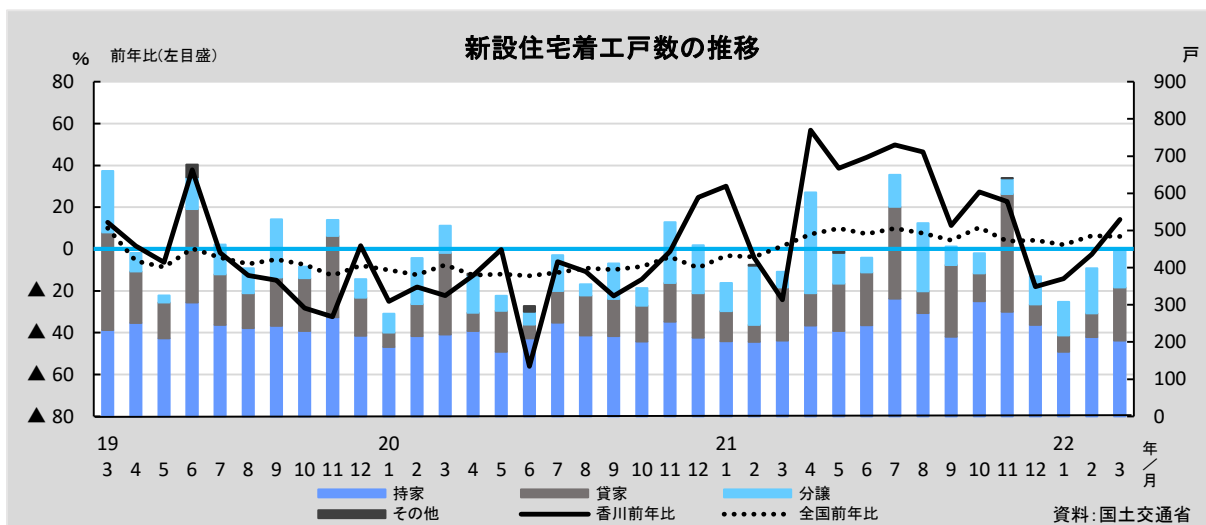
車種別にみると、普通乗用車で前年同月比▲10.7%、小型乗用車で同▲11.7%、軽乗用車で同▲22.7%となった。

## 住宅投資

持ち直しの動きが一服している

### ●新設住宅着工

4カ月ぶり増加 ↑



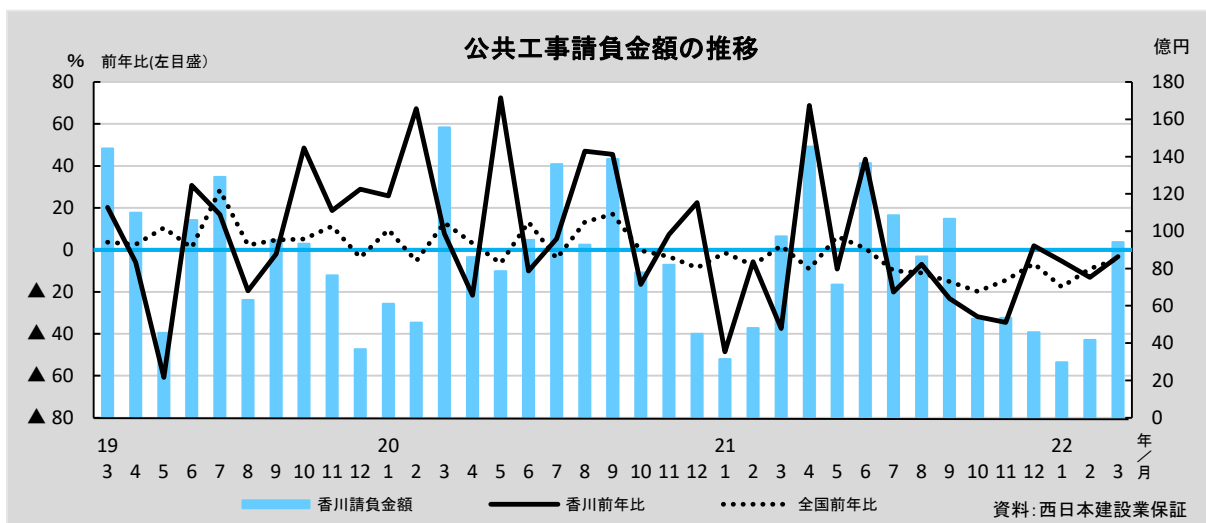
3月の新設住宅着工戸数は444戸で、前年同月比+14.1%と、4カ月ぶりに増加した。利用関係別にみると、**持家**と**貸家**は前年同月と同水準、**分譲住宅**で前年同月比+131.0%となった。

## 公共投資

減少している

### ●公共工事請負金額

3カ月連続減少 ↓



3月の公共工事請負金額94.2億円で、前年同月比▲3.2%と3カ月連続で減少した。発注者別にみると、**国・独立行政法人等**で前年同月比+8.5%、**県**で同▲8.6%、**市町**で同▲34.2%となった。

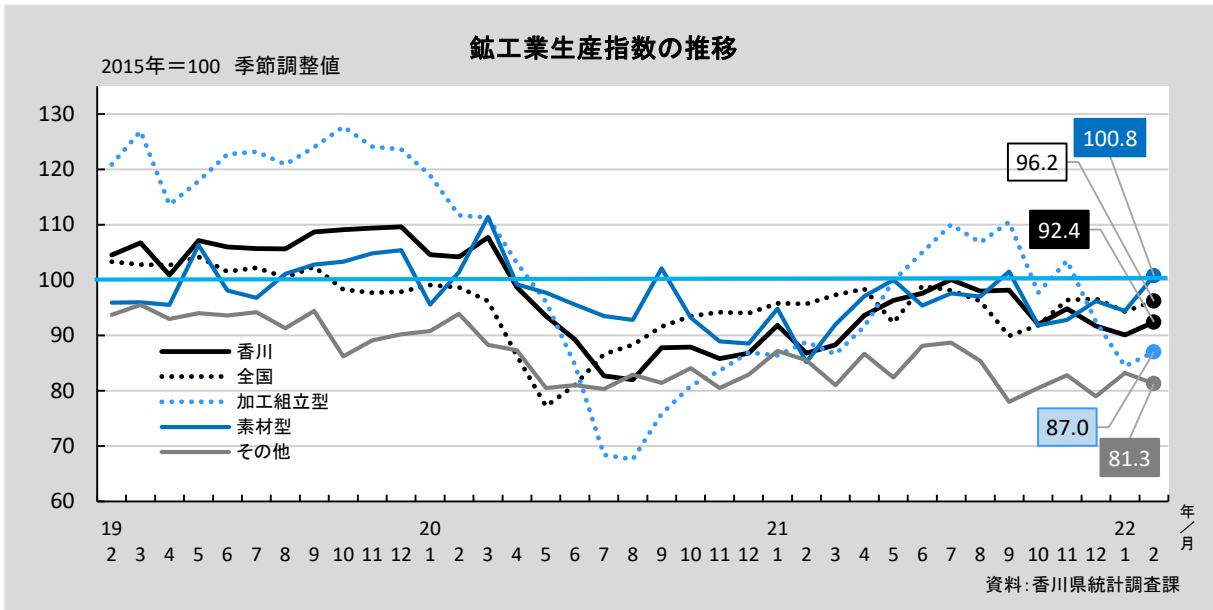
2021.4月～2022.3月の累計では前年同期比3.6%減少している。

生産活動

持ち直しの動きが一服している

● 鉱工業生産指数

3カ月ぶり上昇 ↑



2月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は92.4（前月90.1）となり、3カ月ぶりに上昇した。

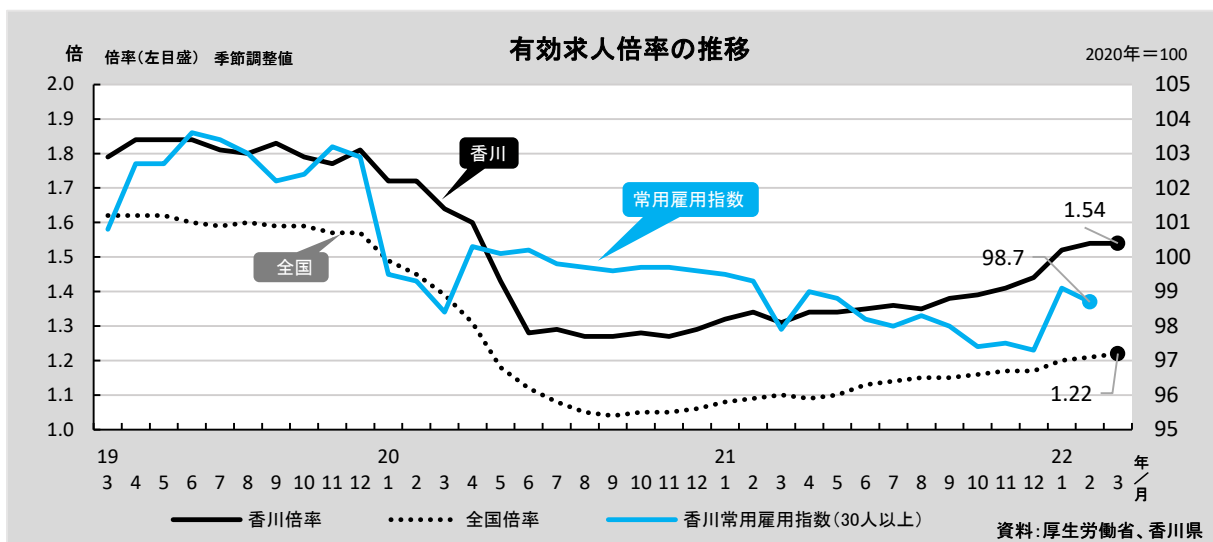
業種別では、素材型の化学・石油石炭製品工業（医薬品など）は前月比+23.9%、加工組立型の輸送機械工業（鋼船など）は同+18.1%と上昇した。一方、素材型の非鉄金属工業（電気金など）は同▲9.5%と低下した。

雇用情勢

緩やかに持ち直している

● 有効求人倍率

前月と同水準 →



3月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.54倍（全国4位）で前月と同水準となった。

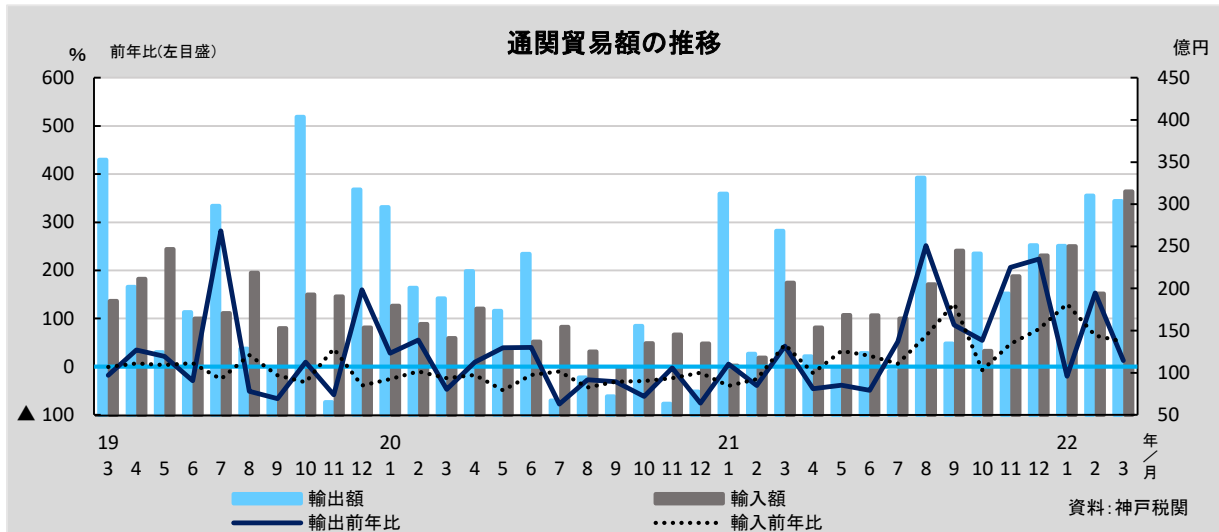
新規求人（原数値：前年同月比）は、情報通信業、金融業・保険業、運輸業・郵便業、宿泊業・飲食サービス業、製造業等で増加し、全体で+6.7%と12カ月連続で増加した。

2月の常用雇用指数（事業所規模30人以上）は、98.7となり、前年同月比は31カ月連続で低下した。

職業別常用有効求人倍率	倍
専門・技術的職業	2.22
事務的職業	0.61
販売の職業	2.36
サービスの職業	3.12
生産工程の職業	2.48
輸送・機械運転の職業	2.22
建設・採掘の職業	7.16
運搬・清掃・包装等の職業	1.14

## 貿易

輸出、輸入ともに増加している



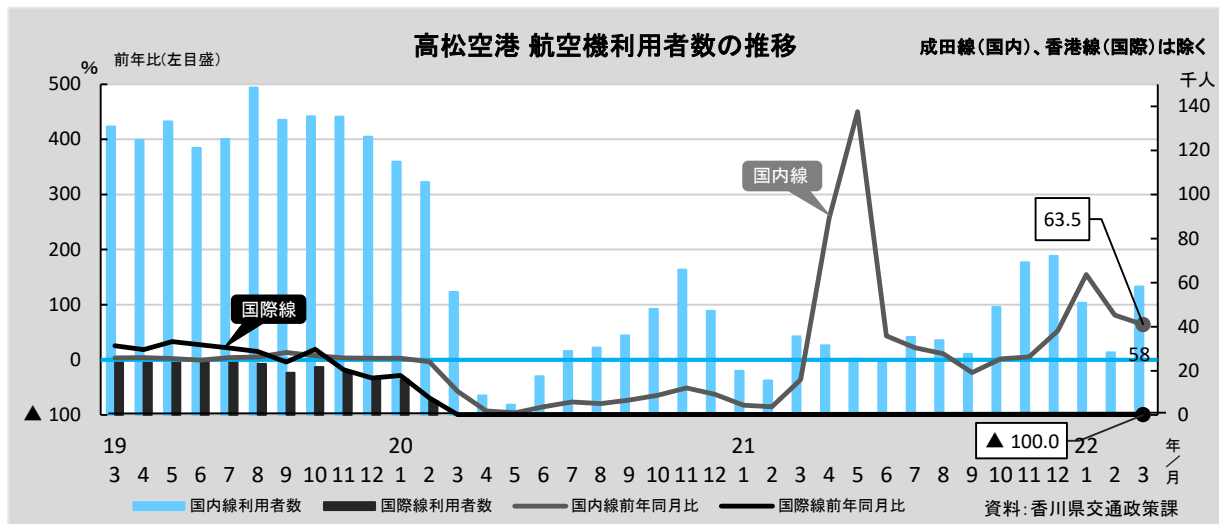
3月の輸出額は前年同月比+13.1%の303.7億円、輸入額は同+52.4%の315.2億円となり、差し引き11.5億円の入超となっている。

輸出は、鉱物性燃料輸出額が前年同月比2.1倍の121億円となった。輸入は、石炭輸入額が同3.1倍の153億円となった。

## 交通

国内線は6カ月連続増加、国際線は25カ月連続全面運休

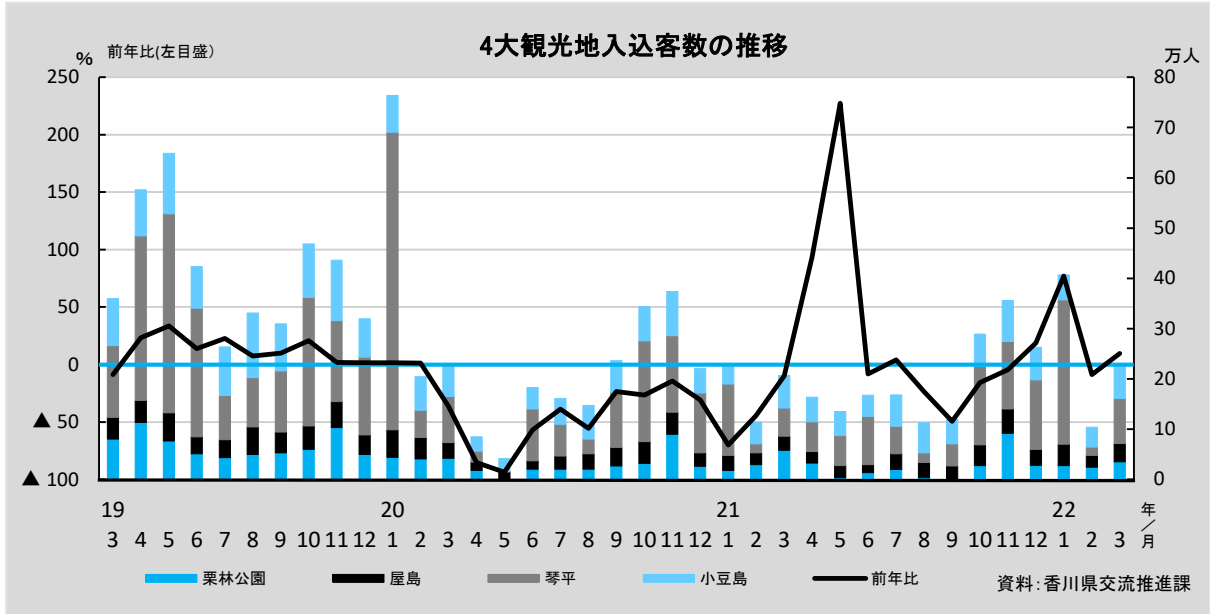
### ●高松空港旅客輸送実績



3月の航空機利用者数は、国内線(羽田・那覇線)が58,176人(前年同月比+63.5%)となり、6カ月連続で増加した。羽田線は55,386人(前年同月比+59.7%)、那覇線は2,790人(前年同月比+208.6%)となった。コロナ禍前の2019年同月比では▲55.6%となった。

国際線(ソウル・上海・台北線)は新型コロナウイルスの影響により25カ月連続の全面運休となった。

●主要観光地入込客数

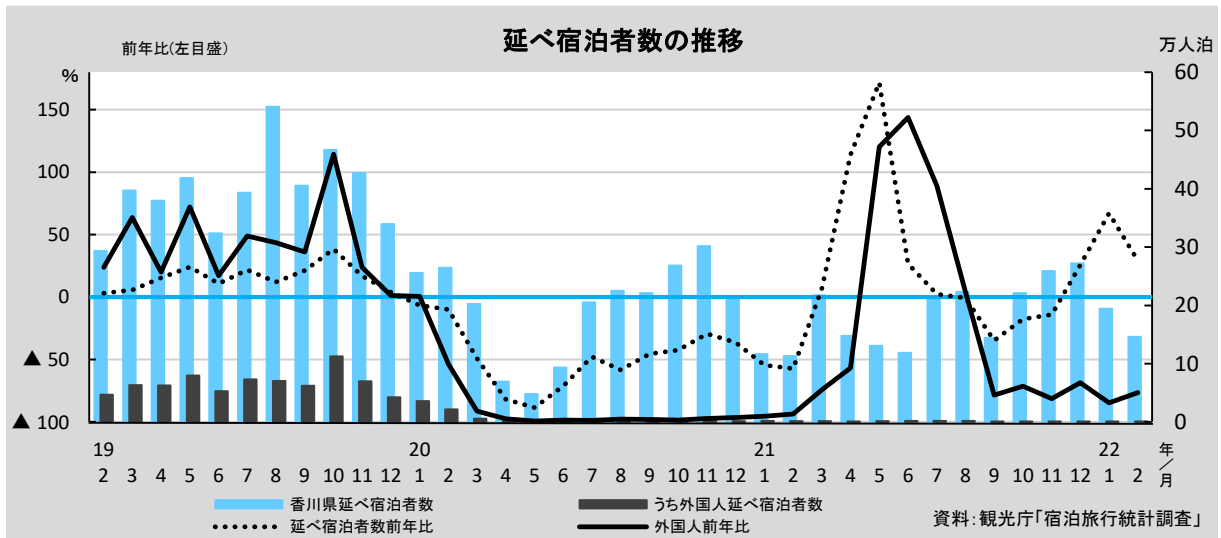


観光地入込客数		栗林公園	屋島	琴平	小豆島	合計
3月(人)	前年同月比	35,300 ▲39.3%	35,767 27.6%	90,000 60.7%	65,814 1.6%	226,881 9.6%
1~3月累計(人)		86,696 ▲17.8%	101,983 25.6%	394,000 82.4%	155,033 4.8%	737,712 34.0%

3月の主要観光地の入込客数は、前年同月比+9.6%と2カ月ぶりに増加した。1月から続いていたまん延防止等重点措置が3月21日に解除され、栗林公園以外はプラスとなった。

1~3月の累計では前年比+34.0%となった。

●延べ宿泊者数



2月の延べ宿泊者数は145,940人で、前年同月比+29.2%と3カ月連続で増加した。前々年同月比では▲44.8%となった。

うち、外国人延べ宿泊者数は320人となり、前年同月比▲76.5%と6カ月連続で減少した。前々年同月比では▲98.5%となった。